

東北新幹線上野～大宮間はやぶさ・こまち21号が走行中に連結部が外れ停車した事象に関する  
現在の状況について

3月6日11時30分頃発生しました、東北新幹線上野～大宮間走行中のはやぶさ・こまち21号の連結部が外れた事象により、多くのお客さまにご迷惑をおかけしたことを改めて深くお詫び申し上げます。当該のE6系こまち号に関する現在の状況についてご報告いたします。

## 1 概況

3月6日（木）11時30分頃、東北新幹線はやぶさ・こまち21号（はやぶさ21号 東京駅発・新青森駅行 H5系10両、こまち21号 東京駅発・秋田駅行 E6系7両 併結編成）は上野駅～大宮駅間を走行中、はやぶさ号とこまち号の連結部（10号車と11号車の間）が外れ、自動的にブレーキが動作し停車しました。

その後、車両点検を行い、はやぶさ21号とこまち21号はそれぞれ単独編成にて大宮駅まで運転し、ご乗車のお客さまには大宮駅にて後続列車へお乗り換えいただきました。

また、14時34分に全線にて運転を再開しました。

## 2 現在の状況

事象発生直後のE6系こまち号の車両点検において、連結器が分割する動作を繰り返す状態が確認されました。このことから、当社としては、併結走行中に何らかの電気的な異常が発生したものと考え、調査を行っております。

本件に関しては運輸安全委員会の調査も行われておりますが、当該のE6系こまち号に対して運輸安全委員会により命じられていた保全が解除されました。

## 3 今後の対応

現在、併結走行中に電気的な異常が発生した場合でも連結器の分割動作が行われないよう、機械的に動作機器を固定する器具を福島駅ならびに盛岡駅での併結作業時に取り付けておりますが、この取扱いは引き続き実施します。

保全が解除された当該のE6系こまち号は、検査および整備を行ったのち、営業運転に使用してまいります。

なお、現在も運輸安全委員会による調査が行われており、引き続き協力するとともに、当社としても原因究明に取り組んでまいります。